

次期八戸市総合計画策定に係る市民参画（案）について

1. 趣旨

次期八戸市総合計画の策定体制に定める計画づくりへの積極的な市民参加（市民意識調査、市民ワークショップ、各種団体・専門家等との意見交換、市議会からの意見聴取、パブリックコメントなど）について、以下の方法により実施する。

2. 実施項目

- (1) 策定委員会委員の公募
- (2) 市民アンケート
- (3) 市民ワークショップ
- (4) 多様な市民参画への取組
- (5) 各種団体・専門家等との意見交換（グループヒアリング）
- (6) 市議会からの意見聴取
- (7) パブリックコメント

●上記項目の内容・対象者数別の整理表

総合的	【市民の意識や意見を深く把握しやすい】 (1)策定委員会委員の公募 (3)市民ワークショップ (6)市議会からの意見聴取 ⇒ 地域課題等について意見を集め、計画の主要部分に反映する。	【市民の意識や意見を広く把握しやすい】 (2)市民アンケート (4)多様な市民参画への取組 (7)パブリックコメント ⇒ 市民生活に密接に関わる意見を集め、計画に広く反映する。
	【特定の分野ごとに専門的な意見を把握しやすい】 (5)各種団体・専門家等との意見交換 ⇒ 特定の分野について、先進的な事例等を集め、計画に反映する。	※時間や経費等を考慮すると専門性の高い意見を多く集めることは困難
専門的	少ない	多い
対象者数		

3. 実施概要

(1) 策定委員会委員の公募

- ①募集期間:令和7年8月6日(水)～9月8日(月)
- ②応募者数:3名

(2) 市民アンケート

①目 的	当市のまちづくりについて、市民意見を広く収集するために実施する。
②実施時期	令和7年11月～12月頃
③対 象 者	i)無作為抽出の市民 3,000 人(18 歳以上) ii)市政モニター112 人
④調査内容	八戸市に関する設問(選択形式・自由記述) ・八戸市に対する住みやすさの感じ方、魅力、将来都市像などに関する市民意識を把握する。
⑤調査方法	郵送で配布し、返送あるいはウェブ回答。
⑥活用方法	基本構想・基本計画策定の基礎情報とする。

(3) 市民ワークショップ

①目 的	当市のまちづくりについて、市民意見を深く収集するために実施する。
②実施時期	令和7年11月～令和8年1月頃に2回
③対 象 者	(1回目)市民や通勤などで八戸市に関わりのある方 30 名程度 (2回目)八戸市内の高校に通学する高校生及び高等教育機関に通学する学生及び 18 歳以上の市民や通勤などで八戸市に関わりのある方 80 名程度
④テ ー マ	・八戸市の魅力や将来都市像について など
⑤活用方法	主に基本構想策定の基礎情報とする。

(4) 多様な市民参画への取組

①目 的	当市のまちづくりについて、市民アンケートや市民ワークショップに参加が叶わない市民の意見を広く収集する機会を創出するほか、市民に対して当市の資源を再確認する契機とするために実施する。
②実施時期	令和7年11月～令和8年3月頃
③対 象 者	市民
④実施内容	i)「八戸のうわさ」プロジェクト 市内各所にパネルやノートなどを掲示し、「10 年後になってほしい八戸市」について、市民等の声を収集する。 ii)SNSを活用した意見等の収集 ア SNSを活用して市民等の声を収集すること。 イ 市の自然、まちなみ、イベント、日常風景、文化等、「未来に残したいはちのへの風景」を題材とした「フォトコンテスト」を開催し、プロモーション動画などの素材を収集する。 ※市民にとって親しみやすい総合計画とするため、計画の内容については、プロモーション動画を作成・活用することを想定。
⑤活用方法	主に基本構想策定の基礎情報とする。

(5) 各種団体・専門家等との意見交換（グループヒアリング）

①目 的	特定の分野に関して、意見を深く把握するために実施する。
②実施時期	令和7年11月～令和8年3月頃に数回程度 ※策定状況に応じて令和8年4月以降も追加実施
③対 象 者	策定状況に応じて、審議内容に関連する団体 例)市民活動団体、経済団体、八戸特派大使 など
④テ ー マ	策定状況による
⑤活用方法	主に基本計画策定の基礎情報とする。

(6) 市議会からの意見聴取

①目 的	まちづくり全般について、議員意見を深く把握するために実施する。
②実施時期	適切な時期に随時
③対 象 者	市議会議員
④内 容	策定状況の共有や内容に関する意見聴取
⑤活用方法	主に基本構想部分、基本計画部分策定の基礎情報とする。

(7) パブリックコメント

①目 的	市民意見を広く収集するために実施する。
②実施時期	令和8年8～9月頃
③対 象 者	市民
④内 容	総合計画における議決部分に対する意見聴取
⑤活用方法	パブリックコメントを踏まえ、策定委員会の最終案をとりまとめる。